

OJI HALL New Year Special Concert

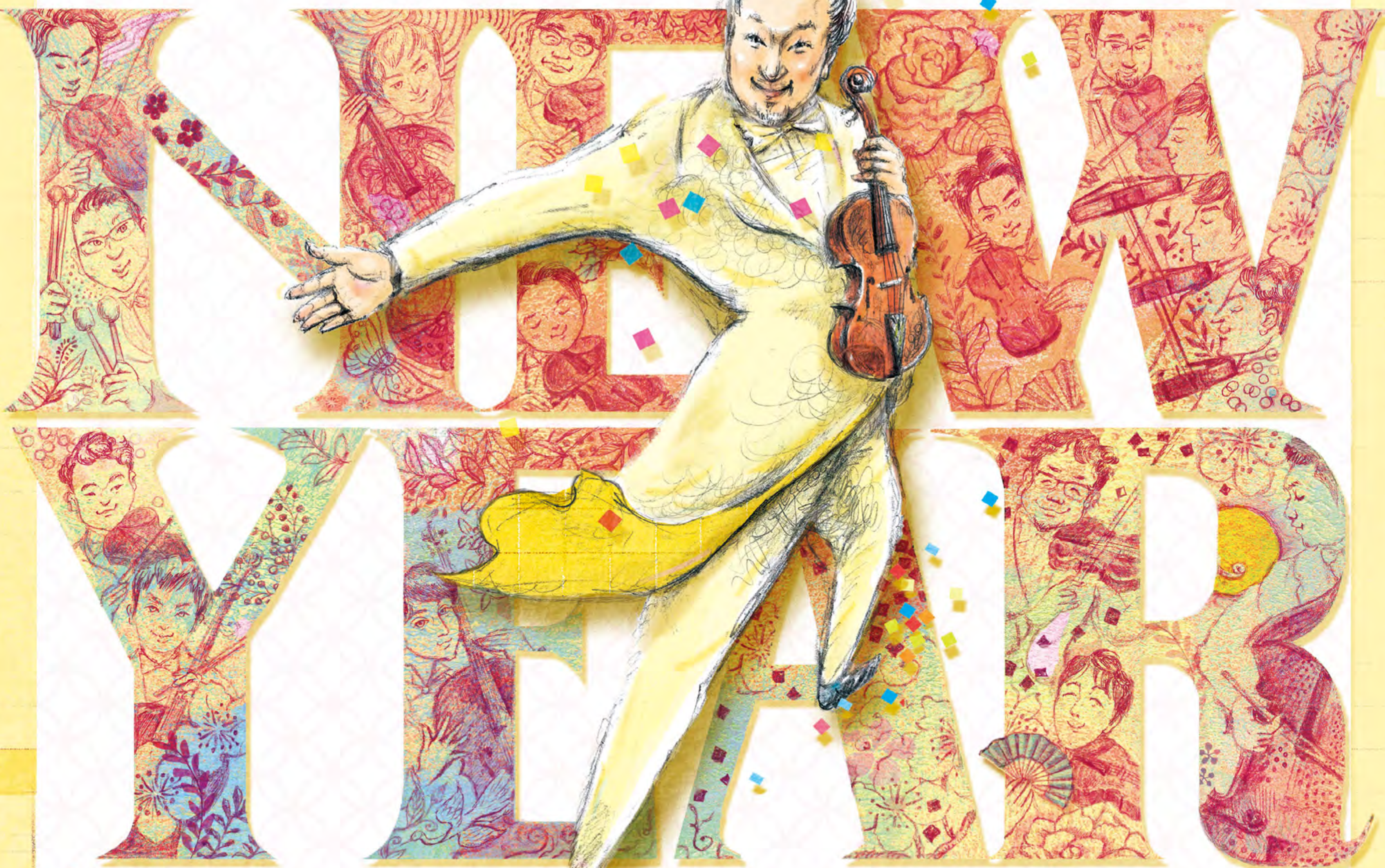
アットホームな
サロンで
新春に集う。

MARO World

Vol.52



MAROワールド Vol.52 by 篠崎“まる”史紀 & MAROカンパニー ~ セレナードの夕べ ~
MARO World Vol.52 by Fuminori maro Shinozaki & MARO Company



2025

1/11 sat

17:00開演 (16:00開場)

1/12 sun

14:00開演 (13:00開場)

全席指定 各¥8,500

モーツァルト：セレナード 第6番 二長調 K239 「セレナータ・ノットゥルナ」
フックス：アンダンテ・グラツィオーソとカプリッチョ (弦楽合奏のための) Op.63
チャイコフスキー：弦楽セレナード 八長調 Op.48

Wolfgang Amadeus Mozart: Serenade No.6 in D major, K239 "Serenata Notturna"
Robert Fuchs: Andante Grazioso and Capriccio Op.63
Peter Tchaikovsky: Serenade for Strings in C major, Op.48

ヴァイオリン
篠崎“まる”史紀

MAROカンパニー

ヴァイオリン
石原悠企、倉富亮太、郷古 廉、小西健太郎
小林吉成、白井 篤、東條太河、福田悠一郎

ヴィオラ
佐々木 亮、鈴木康浩、中村翔太郎

チェロ
佐山裕樹、富岡廉太郎、水野優也

コントラバス
菅沼希望

ティンパニ
篠崎史門

OJI HALL 2024.9.28(土)12:00発売 王子ホールチケットセンター 03-3567-9990

王子ホールが、“まる”の愛称で親しまれているN響特別コンサートマスター、篠崎史紀と創る音楽の社交場“MARO ワールド”第52回は、恒例のMAROカンパニーによるニューイヤー・コンサート。冬のザルツブルクの宮廷で貴族たちが楽しんだモーツァルトの「セレナータ・ノットウルナ」ではカデンツァも聴きもの。4月のMAROワールドでご紹介した最強のマイナー作曲家フックスの美しいアンダンテ・グラツィオーソとカプリッチョ。そしてこれを聴かないと1年が始まらないMAROカンの弦セレで祝います。



篠崎 “まる” 史紀 (ヴァイオリン) Fuminori maro Shinozaki (Violin)

北九州市出身。NHK交響楽団特別コンサートマスター。愛称“まる”。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍する。2004年より銀座・王子ホールでスタートしたシリーズ『MAROワールド』から弦楽合奏団「MAROカンパニー」が結成され、これらの功績により、「2020年度第33回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、01年福岡県文化賞、14年有馬賞受賞。桐朋学園で後進の育成にも力を注いでおり、19年には日本人ヴァイオリニストとしては初めてリスト音楽院より招聘されマスタークラスの指導を行う。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員、北九州文化大使。24年4月より九州交響楽団ミュージック・アドヴァイザーに就任。初の絵本「おんがくはまほう」を刊行。使用楽器は1727年製アントニオ・ストラディヴァリウス((株)ミュージック・プラザ 神田侑晃氏より貸与)。

MAROカンパニー



石原悠企 (ヴァイオリン) Yuki Ishihara (Violin)

第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール特別賞、ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位他、第36回霧島国際音楽祭にて2つの音楽祭賞と音楽監督賞など受賞多数。ベルリン芸術大学ヴァイオリン科 修士課程・修士課程を共に最優秀で修了後、同大学指揮科に在籍。バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミー修了。



倉富亮太 (ヴァイオリン) Ryota Kuratomi (Violin)

東京藝術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業。在学中に安宅賞等受賞。同大学修士課程修了。シゲティ国際コンクール入賞。リビッツァー国際コンクール第2位(最高位)、特別賞受賞。平成25年度優秀学生顕彰大賞受賞。(公財)青山財団奨学生。(公財)ロームミュージックファンデーション2016年度奨学生。日本大学管弦楽団、東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。現在、NHK交響楽団次席ヴァイオリン奏者。



郷古 廉 (ヴァイオリン) Sunao Goko (Violin)

2006年第11回ユニー・メニューイン青少年国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門第1位(史上最年少優勝)。07年デビュー。13年ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞受賞。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)を個人の所有者の厚意により貸与。19年第29回出光音楽賞受賞。現在、NHK交響楽団第1コンサートマスター。



小西健太郎 (ヴァイオリン) Kentaro Konishi (Violin)

2001年生まれ。東京藝術大学卒業。北九州国際音楽祭、自由が丘クラシック音楽祭、木曾音楽祭、Singapore Violin Festival、Ost-West Musik Fest(オーストリア)等、多数参加。現在、篠崎史紀に師事。在学中、ヤマハ音楽奨学支援制度、日本演奏連盟/宗次エンジェル基金新進演奏家支援制度奨学生。サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェロー。24年度松尾学術振興財団音楽助成を受ける。



小林吉成 (ヴァイオリン) Issey Kobayashi (Violin)

東京交響楽団第1コンサートマスター。Gyrfas Competition 2019最高位、青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール、松方音楽賞ほか、入賞受賞多数。ロームミュージックファンデーション、明治安田QOL文化財団等奨学生。東京・春・音楽祭、トランス=シベリア芸術祭等に出演し、ソリストとして東響、読響、PACオーケストラ等と共演。王子ホールのレジデント「ステラ・トリオ」メンバー。



白井 篤 (ヴァイオリン) Atsushi Shirai (Violin)

国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。1999年、NHK交響楽団に入団。2003年、アフィニス文化財団海外研修員としてオーストリア/ウィーンへ留学。現在第2ヴァイオリン次席奏者。カルテット・リゾナンツァ、室内オーケストラ「ARCUS」メンバー、NPO法人「ハマのJACK」副理事。国立音大付属中・高非常勤講師。



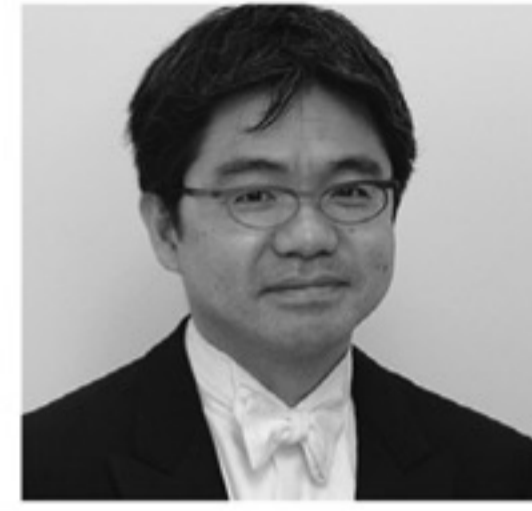
東條太河 (ヴァイオリン) Taiga Tojo (Violin)

メニューイン国際コンクール3位。日本音楽コンクール入賞。ザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学、ピエール・アモイヤルに師事。帰国後、東京藝術大学附属高等学校及び同大学を卒業。東フィル、東響と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。2022年度ロームミュージックファンデーション奨学生。23年9月よりNHK交響楽団契約奏員。



福田悠一郎 (ヴァイオリン) Yuichiro Fukuda (Violin)

福岡生まれ。桐朋学園音楽部門に特待生として在学し、首席で卒業。その後渡独しハノーファー音楽演劇大学修士課程、ソリスト課程を共に最優秀の成績で卒業。これまでに東響、日本センチュリー響、仙台フィル、山響、プレーメンフィルなどと共演し、各地オーケストラのゲストコンサートマスター、古澤 巖率いる「品川カルテット」のメンバーとしても活動している。



佐々木 亮 (ヴィオラ) Ryo Sasaki (Viola)

東京藝術大学およびジュリアード音楽院卒業。留学中にヴィオラに魅せられヴァイオリンから転向。米国各地での演奏活動を経て2004年にNHK交響楽団に入団し、08年より首席奏者を務める。現在桐朋学園、洗足学園、東京藝大附属高校にて後進の指導にもあたっている。ヴィオラスペース2024ではアントワン・タメスティの後任としてプログラミング・ディレクターを務めた。



鈴木康浩 (ヴィオラ) Yasuhiro Suzuki (Viola)

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴァイオリンからヴィオラに転向。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで学び、ベルリン・フィル契約団員を経て04年に帰国。王子ホールでは“銀座ぶらっと”シリーズ「お屋の名曲サロン」の顔でもある。



中村翔太郎 (ヴィオラ) Shotaro Nakamura (Viola)

NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者。4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝大附属高校入学を機にヴィオラに転向。東京藝大卒業。2010年、第15回コンセル・マロニエ21弦楽器部門第1位。東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。Alto de Campagne(ヴィオラ四重奏)メンバー。



佐山裕樹 (チェロ) Yuki Sayama (Cello)

第92回日本音楽コンクールチェロ部門入賞。第13回ピバホールチェロコンクール第1位。第29回青山音楽賞新人賞。これまでに東フィル等と共演。チェロを宮田 豊、倉田澄子に師事。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部チェロ科を首席で卒業後、同大学ソリスト・ディプロマコース修了。



富岡廉太郎 (チェロ) Rentaro Tomioka (Cello)

9歳よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、パーゼル音楽院修了。札幌ジュニアチェロコンクール特別奨励賞。いしかわミュージックアカデミー・IMA音楽賞受賞。2014年から17年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団客員首席奏者を務め、17年より読売日本交響楽団首席チェロ奏者。06年ウェールズ弦楽四重奏団を結成。



水野優也 (チェロ) Yuya Mizuno (Cello)

第89回日本音楽コンクール第1位、第13回東京音楽コンクール第1位、第31回青山音楽賞新人賞など多数受賞。ソリストとして東響、東京フィル、日本フィル、読響、大阪響、京響などと共演。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。ハンガリー・リスト音楽院にてミクローシュ・ペレーニに師事。現在、ザルツブルク・モーツァルト音楽大学にてクレメンス・ハーゲンに師事。



菅沼希望 (コントラバス) Nozomi Sukanuma (Double Bass)

新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者。千葉県柏市出身。14歳よりコントラバスを始める。東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程在学中に渡独し、フランクフルト音楽・舞台芸術大学にて学ぶ。これまでに池松 宏、C.Schmidt、永島義男、西山真二、村上満志、山谷明恵、吉田 秀に師事。大学在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し入団、2019年より首席奏者。



篠崎史門 (ティンパニ) Shimon Shinozaki (Percussion)

学習院高等科、上野学園大学卒業。桐朋学園大学研究科修了。幼少よりヴァイオリンを始め、父・篠崎史紀、奥田雅代に師事。18歳より打楽器を始める。全国各地のオーケストラや音楽祭に客演の他、NHK大河ドラマ「八重の桜」、日本テレビドラマ「リバーサルオーケストラ」に「木之崎」役で出演等、録音録音にも多数参加。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ティンパニ奏者。

TOKYO ART&LIVE CITY 王子ホールは文化庁が推進する「東京アート&ライブシティ構想実行委員会」に参加しています。

●チケットのお問い合わせ・申し込みは

王子ホール
チケットセンター

03-3567-9990
<https://www.ojihall.jp/>

●発売日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

※即日完売の場合もございますので、ご了承ください。

※通常営業日：月曜～金曜10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-99901 <https://www.cnplayguide.com/>

■ローソンチケット:0570-000-407 [https://l-tike.com/\(Lコード34946\)](https://l-tike.com/(Lコード34946))

■e+イープラス: <https://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)

《発売日》2024年9月28日(土)
12:00から発売します。

●お席は全席指定です。●楽章間の入場はできません。
●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

ACCESS

- 地下鉄銀座 A12出口より 徒歩1分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩2分
- 地下鉄銀座一丁目駅 8出口より 徒歩5分
- JR有楽町線 銀座口より 徒歩7分



OJI HALL 銀座 王子ホール 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-7-5

このチラシは王子製紙 OK トップコートマット N 菊判76.5kg を使用しています。
イラスト：保坂真紀

東急プラザ銀座	数寄屋橋交差点	
	和光	銀座通り
銀座四丁目交差点	三越	松屋
晴海通り	三越	王子HD本館
		OJI HALL
		入口